

# 2009年度 山岳科学研究報告会

日時: 2010年2月27日(土)、28日(日)

場所: 信州大学松本キャンパス理学部C棟2階大会議室

## 2月27日(土)

座長: 池田 敦

- 9:55 - 10:00 挨拶: 鈴木啓助(山岳科学総合研究所長)
- 10:00 - 10:20 ○鈴木啓助(山岳基礎科学部門)・池田 敦(特別研究員)  
山岳地域における気象観測の現状と今後の展開
- 10:20 - 10:40 ○池田 敦(特別研究員)・鈴木啓助(山岳基礎科学部門)  
定点カメラによる上高地流域の融雪観測
- 10:40 - 11:00 ○宮川 健(信州大・院)・宮崎敏孝・松尾武久・宇都宮昭義・寺田雅治・山崎敏明・源野広和・森川 真悠子・  
能勢 博(高地医学・スポーツ科学部門)  
登山中のエネルギー消費量と心拍数反応からみた高地順化過程  
～信州大学学士山岳会ヒマラヤトレッキング隊の場合～
- 11:00 - 11:20 ○公文富士夫(山岳基礎科学部門)・村越直美(山岳基礎科学部門)  
上高地、梓川上流域における網状河川の形態と堆積物の特徴
- 11:20 - 11:40 ○松月哲哉(信州大・学)・野沢泰斗(信州大・学)・市野隆雄(山岳基礎科学部門)  
中部山岳地域におけるシワクシケアリの遺伝的・化学的分化パターン
- 11:40 - 12:00 ○藤山静雄(山岳基礎科学部門)・中澤広樹(信州大・学)・石田剛之(信州大・学)  
キシヤステのここ数年の大発生の状況と乗鞍、北アルプス地域での大発生不発の原因についての考察
- 12:00 - 13:00 昼食

座長: 江田慧子

- 13:00 - 13:20 ○江田慧子(信州大・院)・中村寛志(地域環境共生学部門)  
安曇野におけるオオルリシジミ第2化成虫の出現に關与する温度・日長条件
- 13:20 - 13:40 ○中村寛志(地域環境共生学部門)・山根 仁・金原伸大・江田慧子(信州大・院)  
上高地におけるチョウ類群集の季節変動と環境評価
- 13:40 - 14:00 ○宇佐美真一(山岳基礎科学部門)・上田昇平・西尾信哉・中谷貴壽(山岳基礎科学部門)・  
伊藤建夫(山岳基礎科学部門)  
高山蝶の分子系統解析—日本列島における遺伝的多様性と大陸との関連—
- 14:00 - 14:20 ○中村浩志(山岳基礎科学部門)・小林 篤(東邦大・学)  
乗鞍岳におけるライチョウの餌内容の季節変化
- 14:20 - 14:40 ○井上栄壮(信州大・院)・生玉理恵・Zhenghai Fu・平林公男(山岳基礎科学部門)  
山岳河川中流域における河面飛翔昆虫相について—千曲川中流域を例として(予報)
- 14:40 - 15:00 ○小林 元(地域環境共生学部門)・安江 恒(信州大)  
AFC西駒ステーションの亜高山帯における現在の林況と過去の攪乱履歴
- 15:00 - 15:20 休憩

座長: 平尾 章

- 15:20 - 15:40 平尾 章(特別研究員)  
高山植物ミヤマキンバイの平行進化的なエコタイプ分化
- 15:40 - 16:00 ○高橋耕一(山岳基礎科学部門)・吉田周平(信州大・学)  
ハイマツの群落高は分布上限でどのように減少するのか
- 16:00 - 16:20 浅野良晴(山岳環境創生学部門)  
地場産材を使用した住宅における木材のライフサイクルアセスメントに関する基礎調査  
その1 長野県北部におけるスギのCO2排出原単位の算出
- 16:20 - 16:40 高村秀紀(山岳環境創生学部門)  
地場産材を使用した住宅における木材のライフサイクルアセスメントに関する基礎調査  
その2 資材重量と副産物重量の実測調査結果と既実測物件との比較
- 16:40 - 17:00 ○梅干野成央(山岳環境創生学部門)・土本俊和(山岳環境創生学部門)・田村 啓(信州大・学)  
日本アルプスの山小屋建築に関する調査報告—北アルプス 槍ヶ岳山荘—
- 17:00 - 17:30 村山研一(山岳文化歴史部門)  
国立公園とダム建設問題
- 18:00 - 懇親会

## 2月28日(日)

座長:河合小百合

- 9:30 - 9:50 ○尾鼻陽介(信州大・院)・佐藤利幸(山岳基礎科学部門)・鈴木啓助(山岳基礎科学部門)  
乗鞍岳山頂部における植物相から見る山域特性と種組成の変遷
- 9:50 - 10:10 ○石田 桂(山岳基礎科学部門)・小野晶子(信州大・学)  
長野県内の淡水性貝形虫について
- 10:10 - 10:30 扇谷正樹(信州大・院)・関根一希(信州大・院)・○東城幸治(山岳基礎科学部門)  
千曲川水系の水生昆虫類における個体群構造と遺伝的構造 -山岳源流棲種群と広域棲種群の比較-
- 10:30 - 10:50 宮原裕一(山地水域環境保全学部門)  
山岳地域の多環芳香族炭化水素類汚染
- 10:50 - 11:10 ○法橋 亮(信州大・院)・大塚 勉(山岳基礎科学部門)  
飛騨山脈蝶ヶ岳-長嶺山地域の地形と地質-多重山稜地形の形成と山体崩壊-
- 11:10 - 11:30 ○中島光紘(信州大・学)・大塚 勉(山岳基礎科学部門)  
赤石山脈仙丈ヶ岳に発達する二重山稜の地形と地質
- 11:30 - 11:50 ○河合小百合(特別研究員)・原山 智(山岳基礎科学部門)  
大正池300mボーリングにもとづく1.2万年前以降の植生変遷
- 11:50 - 12:10 ○原山 智(山岳基礎科学部門)・河合小百合(特別研究員)  
300m学術ボーリングにより明らかにされた上高地の地形発達史
- 12:10 - 13:00 昼食

座長:若松伸彦

- 13:00 - 13:20 ○島津 弘(山岳基礎科学部門)・瀬戸真之(立正大)  
上高地, 徳沢-明神間の継続観察地における河床地形変動と地形プロセス
- 13:20 - 13:40 ○金子泰久(立正大・学)・若松伸彦(立正大ORC/東京農大)・川西基博(鹿児島大)・米林 伸(立正大)  
上高地の沖積錐における先駆樹種の分布と生育立地
- 13:40 - 14:00 ○若松伸彦(立正大ORC/東京農大)・金子泰久(立正大・学)・川西基博(鹿児島大)・米林 伸(立正大)  
上高地, 下又白谷沖積錐上に成立するトウヒ林の林分構造
- 14:00 - 14:20 Tom Jones(トム・ジョーンズ)(東京大・院)  
上高地におけるInterpretationの現状と課題
- 14:20 - 14:40 今井悠貴(立教大・学)  
上高地における観光客の特性と行動の比較調査
- 14:40 - 15:10 長田光司(名古屋大・院)・永光輝義(森林総合研究所)・鈴木節子(森林総合研究所)・  
○戸丸信弘(名古屋大)  
ケシウヤナギの南限隔離集団における遺伝的多様性の減少と遺伝的構造化

ポスター発表

- 川西基博(鹿児島大)・若松伸彦(立正大ORC/東京農大)・山下実緒(東京農大・学)・  
鈴木由香(東京農大・学)  
上高地梓川における河畔林の動態と草本植物群落の多様性
- 小林祐典(信州大・学)・三宅康幸(山岳基礎科学部門)  
新期御嶽火山 巖立溶岩と兵衛谷溶岩の地質と岩石
- 佐伯幸映(信州大・院)・鈴木啓助(山岳基礎科学部門)  
上高地梓川流域の渓流水質を決定する要因